

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2770801203
法人名	アミコ株式会社
事業所名	グループホーム いこいの守東住吉
所在地	大阪市東住吉区矢田7-12-32 (電話) 06-6797-7677

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成20年3月28日	評価確定日	平成20年4月21日

【情報提供票より】(平成20年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	15 人	常勤	8人, 非常勤 9人, 常勤換算 15.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	38,000 円	
敷金	有(250,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(250,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,575 円	

(4) 利用者の概要(1月31日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	5名	要介護2	2名		
要介護3	9名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.1歳	最低	70歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人慈心会あびこ病院 玉田歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に立地し、街中にもかかわらず、畑が多く自然が残る静かな環境がまわりにあります。病院を母体に持ち、毎日の往診で些細なことでも相談でき、24時間の連絡体制とすぐの対応が可能で、医療面では安心の体制が整っています。キッチンを囲むように造られた広いリビングでは、大きな窓から自然の光が差し込み、家庭菜園が見渡せます。季節を感じられる場所で、入居者は一人ひとり、自分のペースで思い思いに過ごされています。職員間は連携もよく、共有の思いでチームケアに取り組みられています。意見や気付きを表しやすい、働きやすい環境にある為、離職が少なく入居者とは馴染みの関係が築けています。方針にもあるとおり、一方的にケアをするのではなく、パートナーとしての位置付けを理解し、共に生活することを実行されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価を受けて、改善計画にそって取り組んでいます。アセスメント書式としてセンター方式を取り入れました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、職員の意見を聞き、管理者がまとめて作り上げました。振り返りの機会ととらえ、積極的に取り組む中で、改善点を見つけ、第三者の意見とあわせて、今後の取り組みの参考にしたいと考えています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	町会長や、地域包括センター、家族、職員等をメンバーとし、2ヶ月に1度開催しています。ホームの行事の報告、行事予定について話した後、質疑応答しながら、様々なことについて話し合い、貴重な意見をもらえる機会となっています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホームの玄関に意見箱を設置したり、重要事項説明書に苦情窓口を明確にしています。家族が意見を言いやすい雰囲気心がけています。家族の要望には、すぐに対応しています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	敬老会に参加しています。ボランティアの方々に月に一度ホームに来ていただき、歌をうたったり、ゲームを一緒に楽しんでいただいています。すぐ前にある障害者施設の方々には行事の際に声をかけ、共に楽しめるようにしています。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に「笑顔、信愛、憩い」の理念を作り、それを具体化した基本方針もある。パートナーとして、共に歩むことを基本においている。「笑顔」の中には、地域に向けても笑顔で接するという意味も含まれているが、具体的な文言はない。	○	地域にのちで暮らすことを具体的な言葉にかえて、基本方針に盛り込まれることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が出勤の折に目にふれ、ケアを行う心構えになるよう、退勤の折に目にふれ、一日を振り返ることが出来るように、理念はホームの玄関と、各ユニットの入り口に掲示してある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会に参加している。ボランティアの方々に月に一度ホームに来ていただいている。すぐ前にある障害者施設の方々には行事の際に声をかけ、共に楽しめるようにしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、職員の意見を聞き、管理者がまとめて作り上げた。振り返りの機会ととらえ、積極的に取り組む中で、改善点を見つけ、第三者の意見とあわせて、今後の取り組みの参考にしたいと考えている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町会長や、地域包括センター、家族、職員等をメンバーとし、2ヶ月に1度開催している。ホームの行事の報告、行事予定について話した後、質疑応答しながら、様々なことについて話し合い、貴重な意見をもらえる機会としている。	○	今後の議題として災害時対応についてとりあげ、協力を得ていきたい事について時間をとって話し合う等、サービスの向上につながる会議となることを期待する。

グループホーム いこいの守 東住吉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者とは、入居者の報告や、相談事をする機会が度々ある。東住吉区ネットワークにも参加し、情報交換している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、請求時の送付の際には、担当の職員が、一人ひとりの入居者の1ヶ月の生活状況や、行事の際の様子を手紙に書いて同封している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関に意見箱を設置したり、重要事項説明書に苦情窓口を明確にしている。家族が意見を言いやすい雰囲気心がけている。家族の要望には、すぐに対応している。アンケートなどは今のところ行っていない。	○	更に意見を徴収するために、家族対象に項目を定めてのアンケートをされてはどうでしょうか。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員同士の関係が良好であり、意見や気付きが出しやすい環境にある。管理者はよく話を聞き、応えられるようにしているので、離職が少なく、馴染みの関係が続いている。シフトが両ユニット間共通の為、全入居者と全職員が顔馴染みである。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受講することを奨励しているが、全員が受講するまでには至っていない。法人内の三施設合同での研修マニュアルを作成し、交換研修を実施したいと考えているところである。	○	ホームでのサービスを振り返る機会となるよう、合同研修や交換研修が実施されることを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東住吉区ネットワークに参加し、他の事業所と親睦を深め、情報交換を行っている。今後も積極的な交流を検討中である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の方には、まずは見学にきてもらい、リビングで他の入居者と過ごしていただき、雰囲気を確かめてもらっている。家族とは、密に連絡をとり、多く訪問してもらい、徐々に馴染んでもらえるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	基本方針にもある、パートナーとしての位置付けが全職員に浸透していて、家族のような関係ができています。豊富な経験から教えてもらうことも多く、時には一緒に怒ったり泣いたり笑ったりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者から直接意向や思いを聞いたり、表情で思いをくみ取ったりし、対応方法をカンファレンス等で出し合い、意見を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式の一部を用いてアセスメントを行い、個々の特徴を踏まえた介護計画を作成している。カンファレンスでは、職員の意見やアイデアを聞き、計画に反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化が表れやすい方には、毎月、介護計画についてのモニタリングやカンファレンスを行っているが、落ち着いた方には不定期なモニタリングになっている。介護計画の長期目標の期間が定められていない。	○	状態の変化に関わらず、期間を定めてモニタリングし、カンファレンスを通して意見を出し合うことが求められる。今後は3ヶ月に一度ぐらいをめどにされてははいかがでしょうか。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別に通院介助や買い物での外出を支援している。家族に会いに出掛けたり、前に住んでいた家を見に行ったりの個別の支援もしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が病院であり、毎日医師が往診に来てくれている。些細なことや気になることをすぐに相談でき、安心の体制が整っている。1ヶ月に一度は歯科医の往診、週に一度の歯科衛生士の訪問もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人で定められた重度化指針を提示し、説明を行ない同意を得ている。医師や訪問看護との24時間の連携もある。看取りに関しては、今後の課題としている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄時の誘導や、失敗の際の声かけには、他の入居者に気付かれないように十分に配慮している。個人ファイルなどの個人情報は、事務所の棚に適切に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝、食事時間や入浴時間を決めずに、その人のペースを尊重している。個々のペースに合わせて、生活できるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や配膳、片付け等できることを一緒に行い、同じテーブルにつき同じ食事を楽しみながらサポートしている。お手伝いして下さる方が多く、食事時間が楽しいものになっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2時ぐらいから4時ぐらいまでで入浴が可能であり、希望にあわせて入浴できるようにしている。毎日の入浴も可能で、違うユニットでの入浴を楽しむこともできる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家庭菜園での野菜作りや園芸、音楽、裁縫や編み物、一人ひとりの生活歴や趣味に合わせて、楽しみごととなるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ひとり一人の希望に合わせて散歩や買い物に出かけるよう支援している。希望されない方にも、働きかけて、職員の用事に付いて来てもらったりして、外出できるように支援している。季節ごとに遠足も実施している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていないが、各ユニット入り口は、入居者の安全の為、家族から了承をもらって施錠している。入居者の希望や言動を見守りながら、外へ行きたい時には一緒に行けるような対応をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内はスプリンクラーを設置し、避難経路の確認、緊急時連絡網、消防計画もあるが、今のところ避難訓練は行っていない。	○	消防署との協力での避難訓練や、独自でも場面を想定しての避難訓練を実施されることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材メーカーの栄養士による献立で、栄養バランスやカロリー計算もされている。その日の材料で献立のアレンジもでき、入居者の機能や嗜好に合わせることもできる。食事量や水分量も把握し、記録に残している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	キッチンを囲んだ広いリビングは、季節感の感じられるような飾り付けがなされている。テラスに通じる窓からは、自然の光が差し込み家庭菜園や隣の畑が見渡せ、居心地のいい空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたタンスやテレビ、ベッド、大切な仏壇、写真、人形や趣味のもの等を置きその人らしい居室作りをしている。畳を敷いて布団での生活もできる。		